TYPE1
AC 充電コネクタ （T1V-02）

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ご使用の前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを記載しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに保管し、必要なときにお読みください。

本取扱説明書は、予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

操作方法を充電器に表示してください。 ユーザーの誤った操作による破損は保障いたしかねます。

矢崎総業株式会社
矢崎部品株式会社

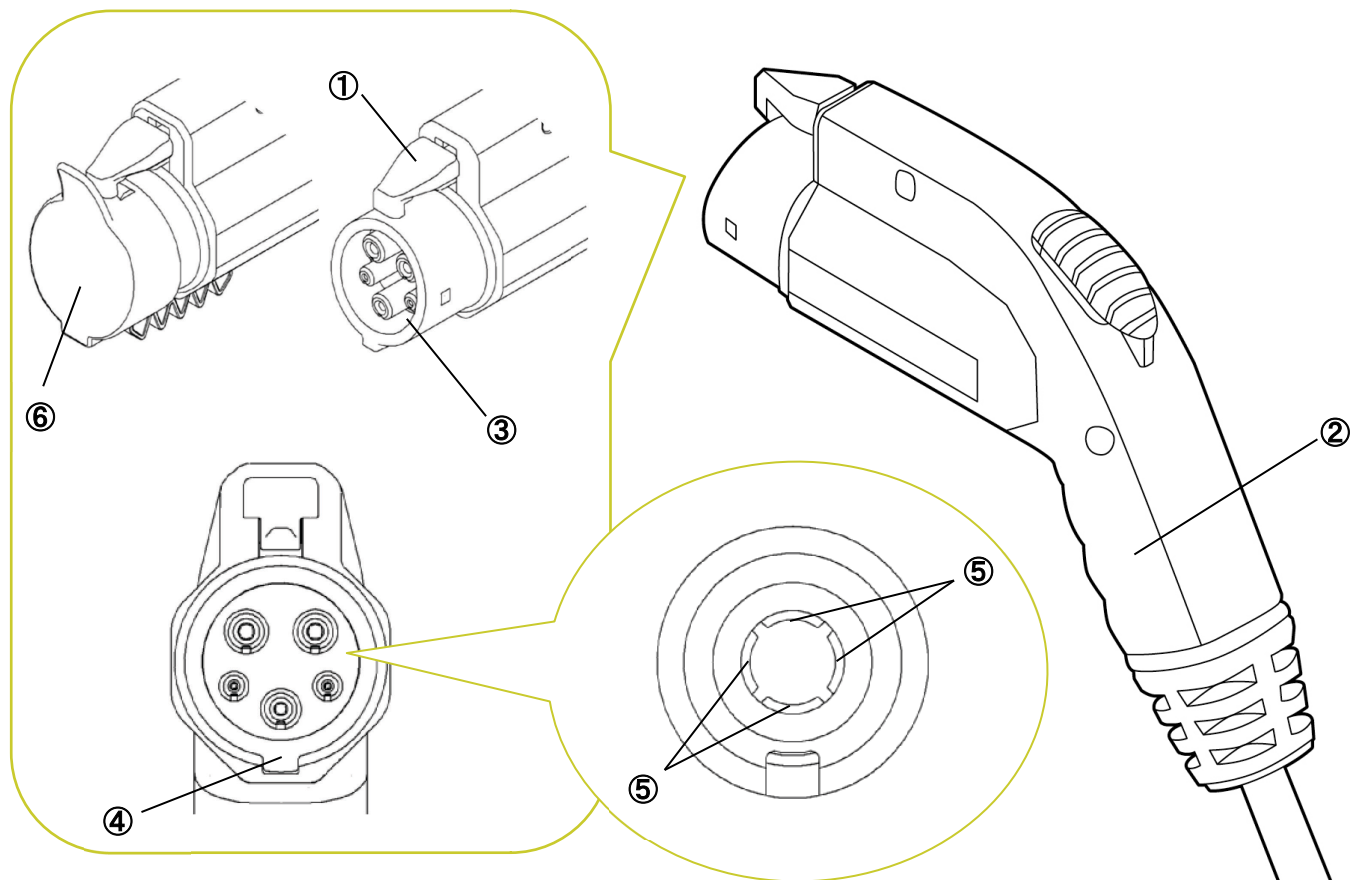
発行年月日：2015 年 9 月 3 日 第 3 版

※本製品はTYPE1 AC充電方式専用です。それ以外使用しないでください。

- 電気用品の技術上の基準を定める省令第１項　別表第四１及び６に準拠
- SAE J1772 Oct(2012)　※APPENDIX Aに準拠。
- IEC 62196-1　2011-10　（※キャップが付いた状態にて準拠）
- IEC 62196-2　2011-10　（※キャップが付いた状態にて準拠）

目次

各部の名称と働き

製品名：TYPE1　AC 充電コネクタ　（T1V-02）　以下「充電コネクタ」と呼びます。

①ラッチ

車両側インレットとの接続を固定(ロック)する爪です。

②グリップ

充電コネクタを握る部分です。

③ハウジング

車両側インレットに差し込まれる部分です。

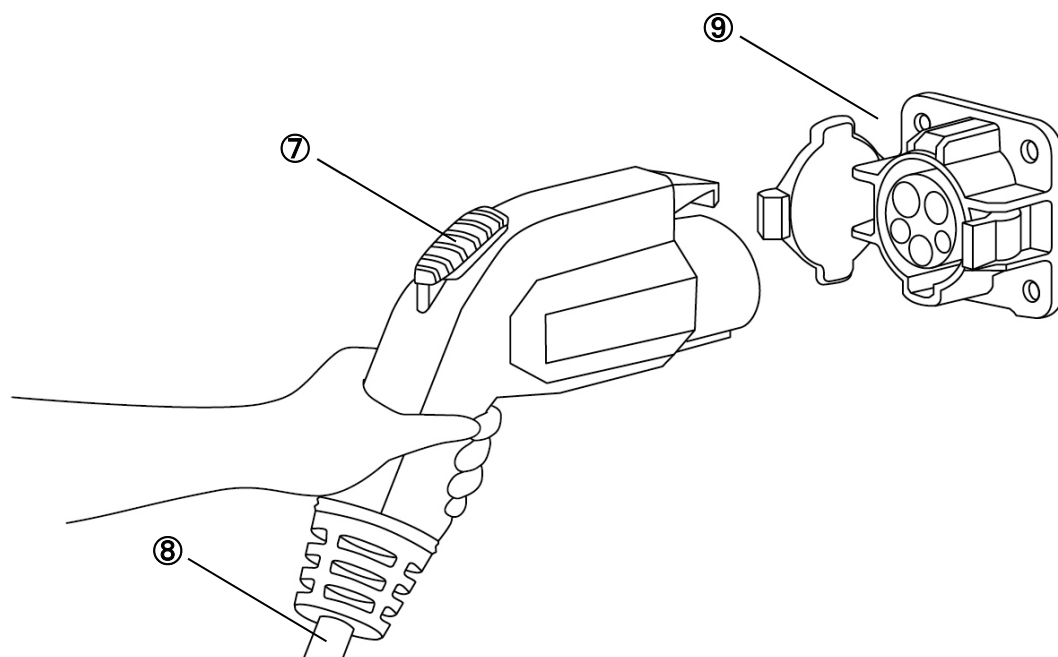
④ガイド（凸）

ハウジング下部の突起部です。車両側インレットの溝(凹)に合わせ差し込むことで、
正しく接続することができます。

⑤端子

ハウジング内部の金属部品です。車両側インレットと接続し電気を流します。

⑥キャップ

保管時に異物の侵入を防ぐ蓋です。(仕様によって、付属しない場合があります。)

⑦ロック解除ボタン

充電を終了する際に、車両側インレットとの接続を解除するボタンです。

⑧ケーブル

電源から車両に電気を流す電線の束です。

⑨車両側インレット

車両側の差込口です。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ず「安全上のご注意」を最後までお読みになり、正しくお使いください。「安全上のご注意」では、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、充電コネクタを安全に正しくお使いいただくための重要な内容を記載しています。

■絵表示について

本書では、誤った取り扱いで生じることが想定される危害や損害の程度を、次のような絵表示を使用して区分けしています。内容をよく理解してから、本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告	**「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性があること」を示します。**

⚠注意	**「誤った取り扱いをすると障害を負う可能性、または物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。**

各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制」をうながす絵表示が付いています。

注意をうながす記号	行為を禁止する記号	行為を強制する記号
注　意	禁　止　火気厳禁　分解禁止　接触禁止	指　示

※故障や破損などにより、使用できなくなった場合はお買い上げの販売元にご連絡ください。

⚠警告

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

分解禁止

分解、修理、改造しない

火災、感電、けがの原因となります。

禁　止

規定の定格値より高い電圧と電流で使用しない

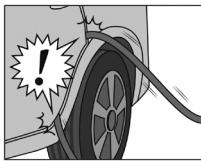
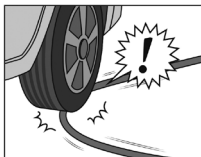
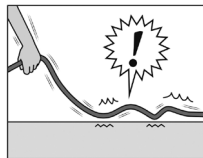
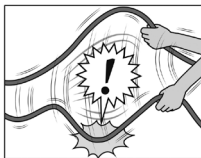
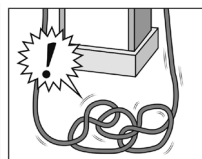
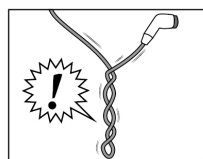
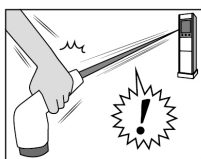
火災や感電の原因となります。

製品規格書に記載している定格値を必ず確認してください。

禁　止

ケーブルを傷つけない、破損したまま使わない

ケーブルを傷つけると、ケーブル表面が破れたり断線し、火災や感電の原因となります。特に、ケーブルがねじれた状態でご利用を繰り返した場合、傷つきやすく破損しやすくなります。

- 車両の扉や充電スタンド、外壁などの間に、はさみ込んだりしない。

- 車両のタイヤ等で踏みつけたり、重いものを載せたりしない。

- 地面等に叩きつけたり、強く擦ったりしない。

- 無理に引っ張ったり、ねじったり、曲げたりしない。

- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

充電コネクタのご使用前後は、ケーブルの破損およびねじれを戻してください。

また、安全にお使いいただくために、本書のメンテナンス(P13～P16)をご覧ください。

指　示

異常を感じたときは、充電を中止する

火災や感電の恐れがあります。

異常な音、においがしたときは、すぐに充電を中止し、以後使用しないでください。

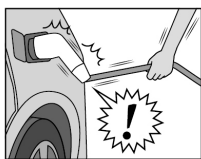
指 示

雷が鳴り出したら、充電を中止する

雷のときは、充電中でも充電コネクタには触らないでください。落雷などによる感電の恐れがあります。

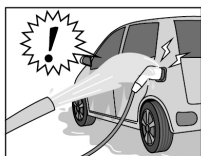
禁 止

充電中は無理に引き抜こうとしない

火災、感電、故障の原因となります。

禁 止

故意に水や液体をかけない

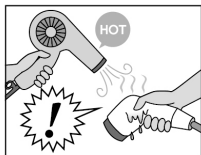
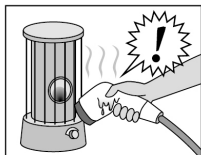
水や液体が入ると、火災や感電の原因となることがあります。

故意にハウジング等に水をかけると感電・ショートする恐れがあります。

接触禁止

ハウジング内部に触れない、また細い棒などを差し込まない

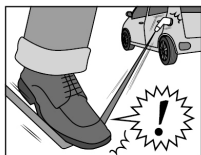
感電の恐れがあります。

火気を近づけない

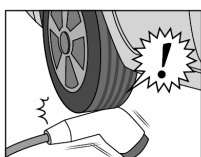
火災の原因となります。

禁 止

充電中に衝撃を与えない

火災や感電の恐れがあります。

破損した場合は、すぐに充電を中止し、以後使用しないでください。

禁 止

故意に踏んだり、車で轢いたりしない

破損による火災、感電、けがの恐れがあります。

禁 止

落下させない

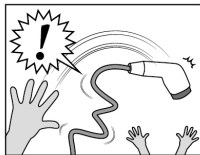
落下させたり、強い衝撃を加えると、故障や破損による火災、感電、けがの恐れがあります。
万一、水たまりなどに落とした場合は、使用しないでください。

充電コネクタの上に乗らない、物を載せない、寄りかかったりしない

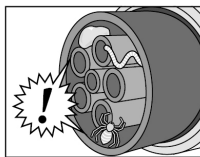
変形や破損による火災、感電、けがの恐れがあります。

禁 止

充電コネクタを振り回したり、投げたりしない

充電コネクタが破損し、けがにつながる恐れがあります。

禁 止

ハウジング内部に異物などを入れない

火災、感電、故障の恐れがあります。
ご使用の前に、異物がないことを確認してください。
異物の除去はメンテナンス(P13~P16)の内容に従い実施してください。

禁 止

子どもだけで使わせない、幼児の手の届く場所で使用しない

感電、けが、やけどの恐れがあります。

禁 止

ケーブルを継ぎ足したりしない

継ぎ足しした部分から漏電し、火災や感電の恐れがあります。
ケーブルの届く範囲で使用してください。

禁 止

充電コネクタを挿したまま、走行しない

事故につながる恐れがあります。

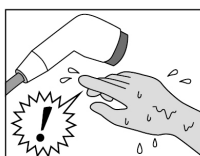
指 示

お手入れの際は電源を切る

感電やけがの恐れがあります。

禁 止

濡れた手で端子に触らない

感電やけがの恐れがあります。

⚠注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

指示

規定の周囲温度－40℃～＋60℃の範囲で使用する

上記以外の温度で使用すると、充電コネクタが故障する恐れがあります。また、低温時はケーブルが硬くなり、曲げにくくなる場合があります。高温時はケーブル表面が熱くなる場合があります。取り扱いにご注意ください。

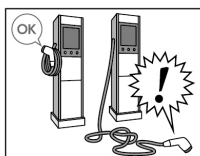
指示

周囲温度－40℃～＋80℃の範囲で保管する

上記以外の温度で保管を行うと、充電コネクタが故障する恐れがあります。

指示

充電完了後は、充電コネクタを所定の位置に戻す

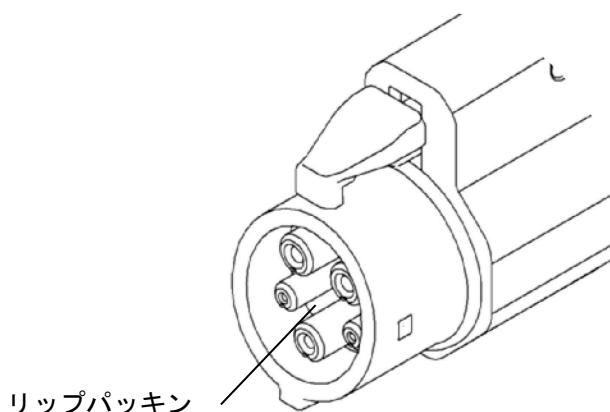
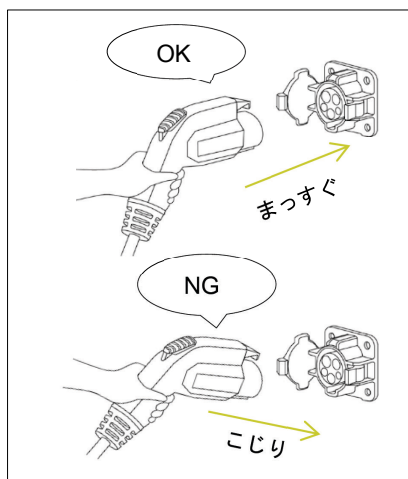
そのまま放置すると故障や破損、事故の原因となります。
大切に保管してください。

指示

炎天下、寒冷地では、充電コネクタを触るときに注意する

充電コネクタの表面が熱く、もしくは冷たくなっている可能性があり、
火傷や凍傷などの恐れがあります。

指示

車両インレットに対し、まっすぐ挿し込む

無理にこじって挿し込むと、リップパッキンにキズや亀裂、めくれが発生するおそれがあります。

※各項目の画像はイメージです。画像に相当する行為にご注意ください。

充電コネクタを接続する

ご注意

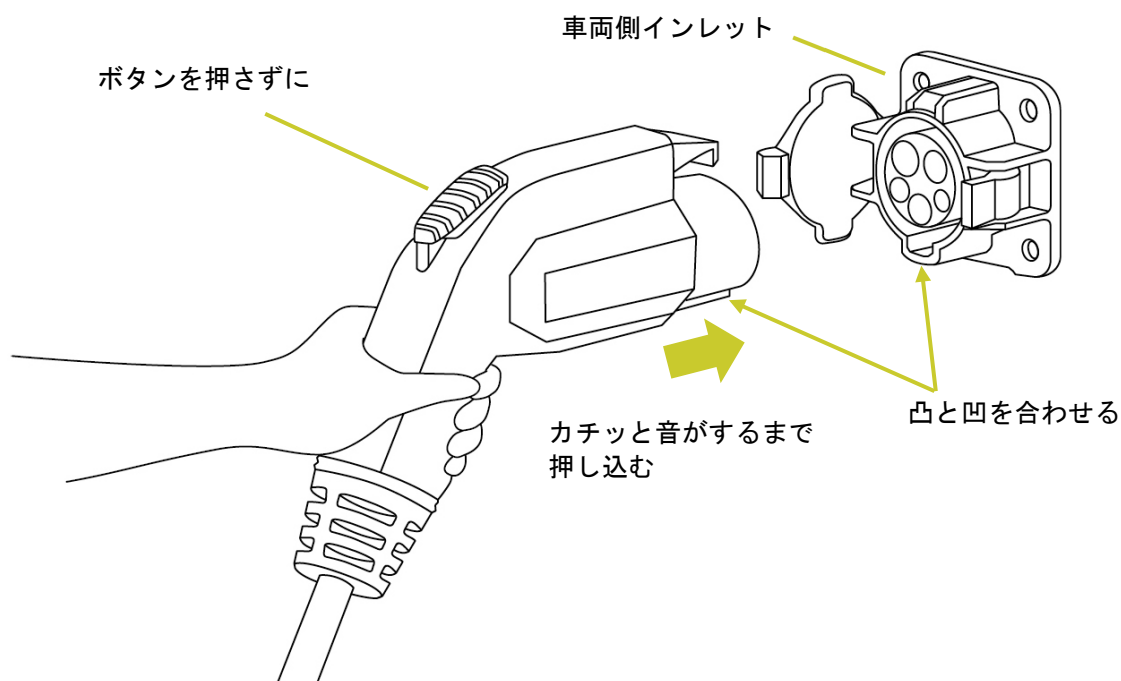
ケーブルが引っ張られた状態にならないよう、車両を充電コネクタまたは充電スタンドに近づけてください。

1. ハウジング内部と車両側インレット内部に異常や異物がないか確認する。

異物がある場合、メンテナンス(P13~P16)の内容に従い取り除いてください。

2. グリップを持ち、ガイド（凸）と車両側インレットの溝（凹）を合わせて、カチッと音がするまでまっすぐ挿し込む。

ご注意

挿し込むときは、ロック解除ボタンを押しながら挿し込まないでください。押しながら挿し込むと、ロックされた時にするカチッという音がせず、正しくロックされたかわかりません。

正しく接続されると、カチッと音がして充電できる状態になります。

メモ

うまく挿し込めないときは、ロック解除ボタンを押しながら、いったん引き抜きハウジング内部、または車両側インレットに異物等がないか確認し再度挿し込んでください。

ご注意

正しく接続されている状態で、ロック解除ボタンを押さないでください。

充電コネクタを取り外す

充電が停止したら、充電コネクタを取り外します。

1. グリップを持ち、ロック解除ボタンを押しながらまっすぐ引き抜く。

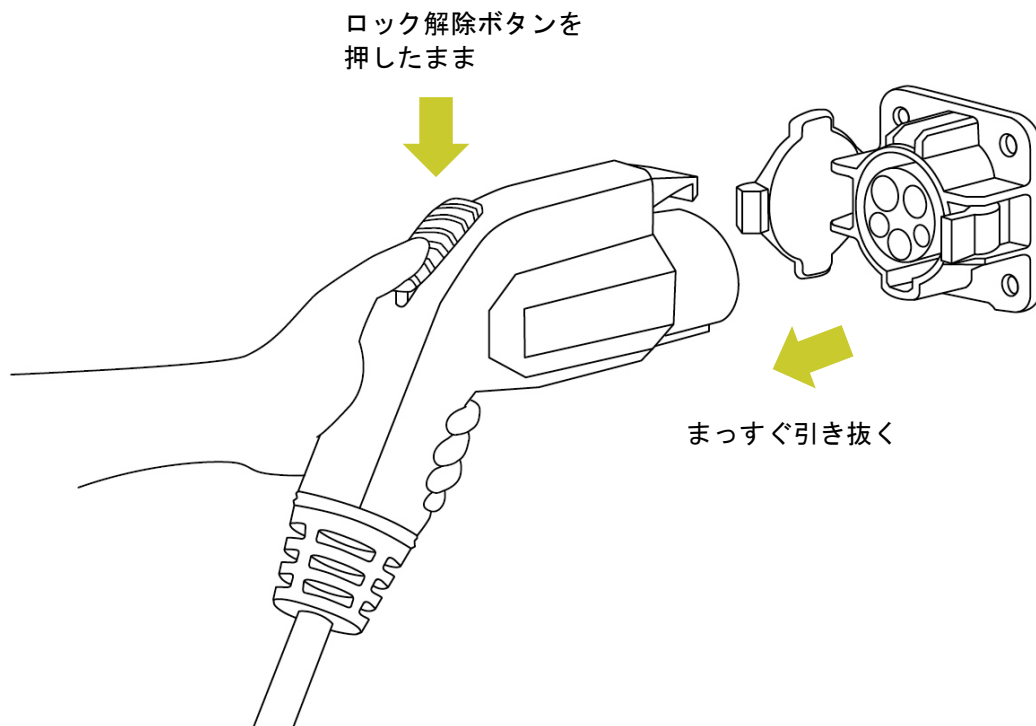
ロック解除ボタンを押すことで、充電を止めると同時に、接続を解除し充電コネクタが引き抜ける状態になります。

ご注意

- ロック解除ボタンを押さずに、充電コネクタを引き抜かないでください。特にケーブルのみを持って引き抜かないでください。
- 充電コネクタを落とさないように注意してください。

2. 充電コネクタを所定の位置に戻す。

必ず所定の場所に、ていねいに戻してください。

ご注意

- 充電コネクタを落とさないように注意してください。
- 充電スタンドに戻すときは、充電ケーブルをねじらないように注意してください。

途中で充電を終了したいときは

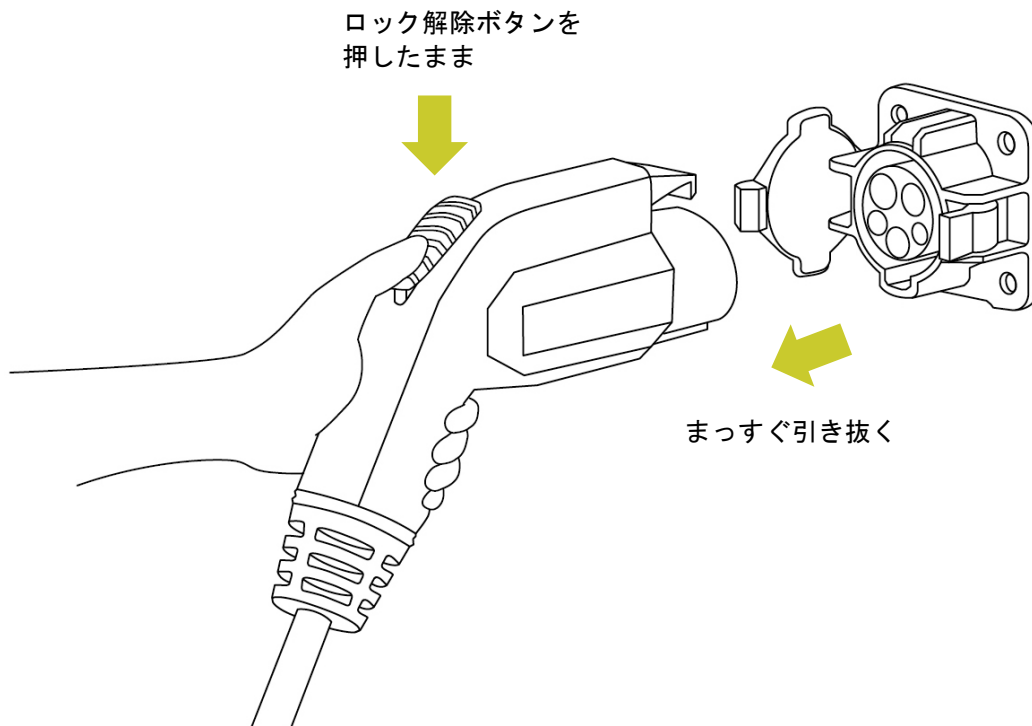
ご注意

絶対に無理に引き抜こうとしないでください。充電コネクタや車両側インレットが破損する危険があります。

1. グリップを持ち、ロック解除ボタンを押しながらまっすぐ引き抜く。

ロック解除ボタンを押すことで、充電が中断し、充電コネクタが引き抜ける状態になります。

ご注意

- ロック解除ボタンを押さずに、充電コネクタを引き抜かないでください。特にケーブルのみを持って引き抜かないでください。
- 充電コネクタを落とさないように注意してください。
- 早く引き抜くと充電の停止が間に合わない場合があります。

2. 充電コネクタを所定の位置に戻す。

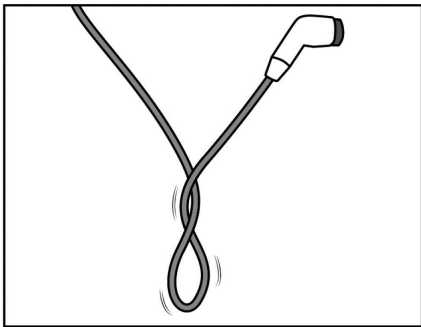
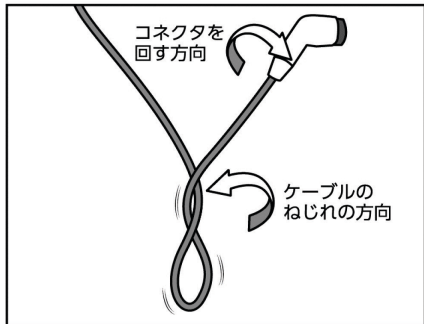
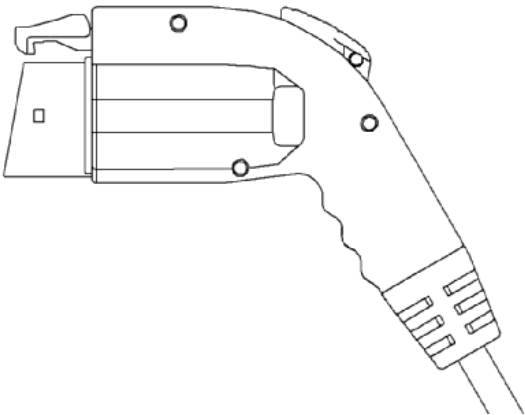
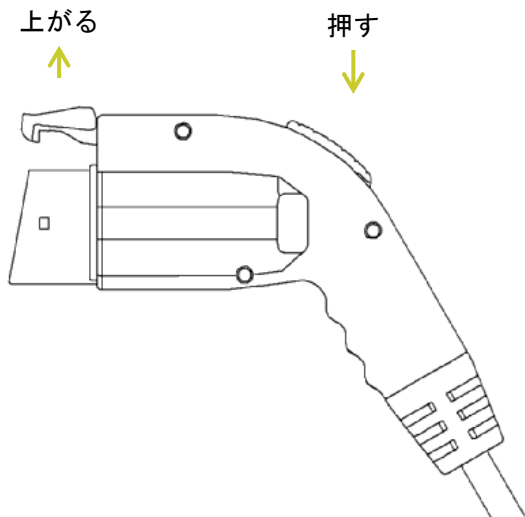
必ず所定の場所に、ていねいに戻してください。

ご注意

- 充電コネクタを落とさないように注意してください。
- 充電スタンドに戻すときは、充電ケーブルをねじらないように注意してください。

メンテナンス

安全にお使いいただくために、日常点検とお手入れ、定期点検を行ってください。
異常が発生しているときは、直ちに使用を中止し、適切に対策してください。

必ず守ってください

- 作業する際は、電源を切ってから行ってください。作業中は、電源がオンにならないようにしてください。
- 充電コネクタを安定した場所に置いてから、点検を実施してください。点検中に落として、けがをする可能性があります。
- 端子には、触らないでください。
- 充電コネクタには、水をかけないでください。感電する恐れがあります。
- スプレー式の洗剤は、直接使用しないでください。洗剤の内部に入ると、内部の電子部品などに付着して、作動不良や腐食などの機器故障の原因になります。必ず布に含ませてお使いください。
- ガソリン、ベンジン、シンナー、磨き粉、洗剤、ワイヤーウール、金ブラシ、たわし、研磨スポンジなどは使用しないでください。充電コネクタの表面が変質し、はがれ・変色・樹脂部品の割れの原因となります。また、ケーブル表面が変質しケーブルを傷める原因となります。

日常点検とお手入れ

日常点検とともに、汚れたときはその都度、お手入れしてください。
特にグリップやロック解除ボタンなど、手が触れるところは、常に清潔に保ってください。

推奨点検時期：使用都度

No.	点検箇所	点検項目	対策
1	充電コネクタ (目視以外の点検)	充電コネクタを振り、異音がしないか。	• 異音がする場合は、お買い上げの販売元へ連絡する。
		充電コネクタから異臭はしないか。	• 異臭がする場合、お買い上げの販売元へ連絡する。
2	充電コネクタ表面 (目視で確認できる箇所)	グリップやロック解除ボタンなど、手に触れる部分に汚れがないか。	• 柔らかい布を水で濡らし、よく絞ってから表面を拭き取る。
		目視で確認できる変形、亀裂、破損などがないか。	• 変形、亀裂、破損があるときは、お買い上げの販売元に連絡する。

No.	点検箇所	点検項目	対策
3	ハウジング周辺と内部 （端子以外）	水滴や異物の付着がないか。	• 水滴や異物は、市販のエアーダスターやエアーブローで吹いて取り除く。 • ハケや布などでハウジング内部を清掃すると、端子などにダメージを与える可能性があるので、上記以外の方法では清掃しない。 • 上記で取り除けない場合は、お買い上げの販売元へ連絡する。
4	端子	水滴やほこり、異物の付着がないか。	• 水滴やほこり、異物は、市販のエアーダスターやエアーブローで吹いて取り除く。 • 上記で取り除けない場合は、お買い上げの販売元へ連絡する。
		目視で確認できる変形、破損などがないか。	• 異常があるときは、お買い上げの販売元へ連絡する。
5	ケーブル	ケーブル表面に磨耗、亀裂などがないか。	• 異常があるときは、お買い上げの販売元へ連絡する。
		内部の電線が露出していないか。	
		充電コネクタとの結合部に緩み、破損はないか。	
		ケーブルのねじれがないか。 ケーブルがねじれている状態	• ケーブルのねじれを直す。 充電コネクタをケーブルのねじれと逆方向にねじれがなくなるまで回転する。ねじれを直す際にケーブルを無理に引っ張らない。 ねじれの直し方
6	ラッチ	目視で確認できる変形、破損、磨耗などがないか。	• 異常があるときは、お買い上げの販売元へ連絡する。

No.	点検箇所	点検項目	対策
7	ロック解除ボタン	目視で確認できる変形、亀裂、破損などがないか。	• 異常があるときは、お買い上げの販売元へ連絡する。
		押したとき、ラッチが連動して動くか。放したとき、ラッチが元に戻るか。（下図参照）	
		ロック解除ボタンを放したとき 上がる 押す ロック解除ボタンを押したとき	

定期点検

推奨定期点検時期：年 1 回

No.	点検箇所	点検項目	対策
1	端子	端子表面のめっきがはがれて母材が露出していないか。	• 露出があるときは、お買い上げの販売元へ連絡する。
2	挿し込み／引き抜き	車両側インレットにスムーズに挿し込み／引き抜きができるか。	• 異常があるときは、お買い上げの販売元へ連絡する。

困ったときには

お問い合わせの前に、もう一度点検してみましょう。それでも解決しないときは、お買い求めの販売元にご相談ください。

■ 充電できない

症状	想定される原因	対処方法
充電できない。	充電コネクタが車両側インレットに正しく挿し込まれていない。	• ロック解除ボタンを押して、いったん充電コネクタを引き抜き、再度挿し込んでください。
	充電コネクタまたは車両側インレットが故障している。	• お買い上げの販売元にお問い合わせください。
充電が途中で終了した（途中で止まった）。	充電または車両側インレットが故障している。	• お買い上げの販売元にお問い合わせください。

■ 抜けない

症状	想定される原因	対処方法
充電コネクタが車両側インレットから取り外せない。	ロック解除ボタンを押さずに、引き抜こうとしている。	• ロック解除ボタンを押しながら、充電コネクタを引き抜いてください。
	充電コネクタまたは車両側インレットが故障している。	• お買い上げの販売元にお問い合わせください。

■ 挿し込めない

症状	想定される原因	対処方法
車両側インレットに挿し込めない。	ラッチ部分に異物が詰まっている。	• 市販のエアーダスターやエアーブローで吹いて取り除いてください。 • 取り除けないときは、お買い上げの販売元にお問い合わせください。
	端子に異物が詰まっている。	• 市販のエアーダスターやエアーブローで吹いて取り除いてください。 • 取り除けないときは、お買い上げの販売元にお問い合わせください。
	車両側インレットに異物が詰まっている。	• 車両側の対応方法を確認してください。
	充電コネクタが変形、破損または故障している。	• お買い上げの販売元にお問い合わせください。
	車両側インレットが変形、破損または故障している。	• 車両側の対応方法を確認してください。

■ ロックされない

症状	想定される原因	対処方法
挿し込めるが抜けてしまう。	挿し込んだ後、ロック解除ボタンを押した。	• ロック解除ボタンを押しながら、充電コネクタを引き抜き、再び、ロック解除ボタンを押さずに、ガイド（凸）と車両側インレットの溝（凹）を合わせてカチッと音がするまでまっすぐ挿し込んでください。
	ロック解除ボタンを押しながら、挿し込もうとしている。	• ロック解除ボタンを押さずに、カチッと音がするまでまっすぐ挿し込んでください。
	充電コネクタが故障している。	• お買い上げの販売元にお問い合わせください。
	車両側インレットが故障している。	• 車両側の対応方法を確認してください。

■ その他

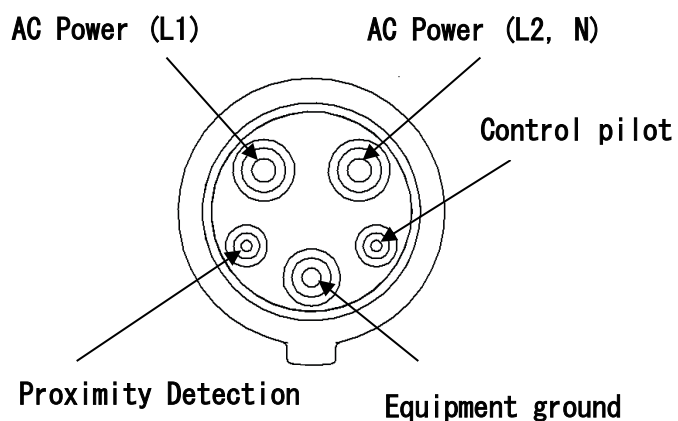
症状	想定される原因	対処方法
ロック解除ボタンが動かない。	ラッチ部分に異物が詰まっている。	• 市販のエアーダスターやエアーブローで吹いて取り除いてください。 • 取り除けないときは、お買い上げの販売元へ連絡してください。
	ロック解除ボタンが故障している。	• お買い上げの販売元にお問い合わせください。
リップパッキンがはずれた。	リップパッキンが劣化している。	• お買い上げの販売元にお問い合わせください。 ※リップパッキンは消耗品です。

仕様

日本仕様（定格電流 20A）

形式		仕様
定格電圧	電力回路	AC250V 以下
	信号回路	12V 以下
定格電流	電力回路	20A 以下
	信号回路	2A 以下
使用電線	電力回路	2.5mm^2×2
	信号回路	0.75mm^2×1
	接地回路	2.5mm^2×1
外形寸法		幅 49.8mm×奥行 204.8mm×高さ 149.3mm
重量		450g（ケーブルを除く充電コネクタ単体重量）
使用温度		−40℃～＋60℃
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		AC3000V　10 秒間印加で絶縁破壊が無いこと
適合法令		電気用品安全法（PSE）
適合規格		電気用品の技術上の基準を定める省令第 1 項 別表第四 1 及び 6
認証機関		JET
マーキング		PSE JET

※本使用温度は弊社保証温度であり、安全認証温度とは異なります。

【端子配列】

ハウジング正面視

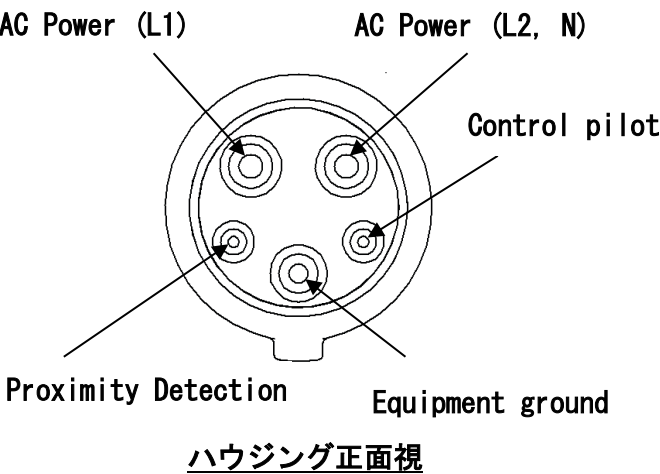
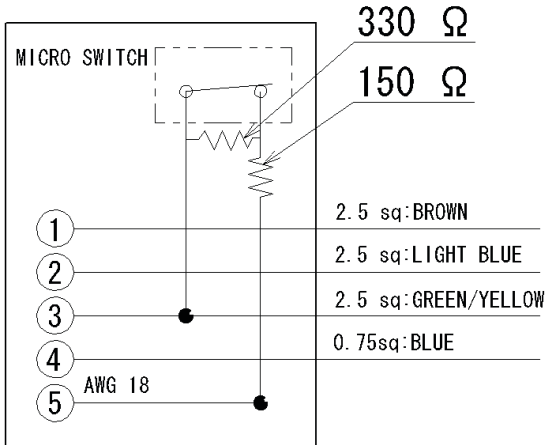
【回路図】

日本、欧州仕様（定格電流 20A）

形式		仕様
定格電圧	電力回路	AC250V 以下
	信号回路	12V 以下
定格電流	電力回路	20A 以下
	信号回路	2A 以下
使用電線	電力回路	2.5mm^2×2
	信号回路	0.75mm^2×1
	接地回路	2.5mm^2×1
外形寸法		幅 49.8mm×奥行 204.8mm×高さ 149.3mm
重量		450g（ケーブルを除く充電コネクタ単体重量）
使用温度		－40℃～＋60℃
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		AC3000V　10 秒間印加で絶縁破壊が無いこと
適合法令		電気用品安全法（PSE）、低電圧指令 2006/95/EC
適合規格		・電気用品の技術上の基準を定める省令第 1 項 別表第四 1 及び 6 ・IEC 62196-1 Edition1.0　IEC 62196-2 Edition 1.0
認証機関		JET　、TÜV Rheinland
マーキング		PSE JET CE

※本使用温度は弊社保証温度であり、安全認証温度とは異なります。

【端子配列】

ハウジング正面視

【回路図】

北米仕様（定格電流 20A）

形式		仕様
定格電圧	電力回路	AC120/240V 以下
	信号回路	12V 以下
定格電流	電力回路	20A 以下
	信号回路	2A 以下
使用電線	電力回路	12AWG×2
	信号回路	18AWG×1
	接地回路	12AWG×1
外形寸法		幅 49.8mm×奥行 204.8mm×高さ 149.3mm
重量		450g（ケーブルを除く充電コネクタ単体重量）
使用温度		−40℃～＋60℃
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		AC3000V　10 秒間印加で絶縁破壊が無いこと
適合法令		アメリカ電気工事規準 NFPA 70
適合規格		UL2251 Second Edition
認証機関		Underwriters Laboratories
マーキング		c UL us

※本使用温度は弊社保証温度であり、安全認証温度とは異なります。

【端子配列】

ハウジング正面視

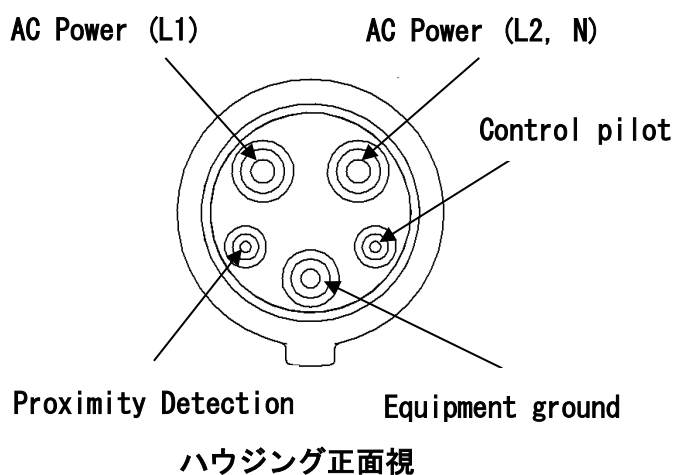
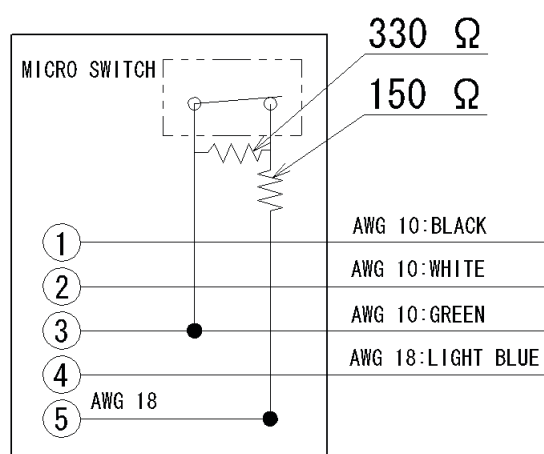
【回路図】

北米仕様（定格電流 30A）

形式		仕様
定格電圧	電力回路	AC120/240V 以下
	信号回路	12V 以下
定格電流	電力回路	30A 以下
	信号回路	2A 以下
使用電線	電力回路	10AWG×2
	信号回路	18AWG×1
	接地回路	10AWG×1
外形寸法		幅 49.8mm×奥行 204.8mm×高さ 149.3mm
重量		450g（ケーブルを除く充電コネクタ単体重量）
使用温度		−40℃～＋60℃
絶縁抵抗		5MΩ以上（DC500V）
耐電圧		AC3000V　10 秒間印加で絶縁破壊が無いこと
適合法令		アメリカ電気工事規準 NFPA 70
適合規格		UL2251 Second Edition
認証機関		Underwriters Laboratories
マーキング		

※本使用温度は弊社保証温度であり、安全認証温度とは異なります。

【端子配列】

ハウジング正面視

【回路図】

保証内容 【 TYPE1 AC充電コネクタ(T1V-02) 】

本製品（充電コネクタ）は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の管理の下で正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無償対応を行うことをお約束するものです。

■ 保証の期間と範囲

1. 保証期間：本製品(充電コネクタ)の製造日から１年間は無償対応を行います。
   但し、３の２）、３）、４）、５）の場合は、有償対応とさせていただきます。
   また、弊社営業窓口及び販売会社と個別に保証期間について取り交わしがある場合は、
   個別に取り交わした保証内容を優先します。
   ◆ 製造日の確認方法
   ・製品に印字してあるシリアルナンバーから判読します。
   ・シリアルナンバーは充電コネクタ側面の認証刻印の下に印字されています。
   ・シリアルナンバーから製造日を解読する方法。
   例）
   １３ ０１ ２３－００１
   ①　②　③　　④
   ① １３　　・・・　２０１３年を意味します。
   ② ０１　　・・・　１月を意味します。
   ③ ２３　　・・・　２３日を意味します。
   ④ ００１　・・・　上記①②③の日の１番目に生産されたことを意味します。
2. 保証期間経過後：有償対応とさせていただきます。但し、弊社の設計・製造上の欠陥により生じた故障や破損については、無償対応とさせていただきます。
3. 有償対応：次の原因による故障・破損の修理は有償とさせていただきます。
   1） 保証期間が過ぎた製品の故障・破損
   2） お客様の管理の下で行った誤った使用、設置、輸送などにより生じた故障・破損
   3） 弊社指定以外の部品を使用して修理または改造を行った場合の故障・破損
   4） 弊社および弊社指定者以外が修理または改造を行った場合の故障・破損
   5） 地震・火災などの災害および不可抗力による故障・破損
4. 取扱説明書に記載されている操作方法以外の操作方法に起因した事故等による一切の二次的な損害（使用者の怪我、他の設備や財産への破損等）については補償いたしかねますので、ご了承をお願いします。

※ この保証内容は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償対応をお約束するものです。この保証内容によって、保証内容を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※ 保証期間経過後の対応、交換用部品の保有期間については、お買い上げの販社または弊社営業窓口までお問い合わせください。

矢崎総業株式会社
矢崎部品株式会社

東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 17F